

### 高齢社会の現状

加齢化する少子化、超高齢化  
 日本は、少子化の進行と加齢化の進展が相俟って超高齢化社会に近づいています。  
 高齢化社会とは「65歳以上の高齢者人口が全人口の1/3を超え人口の増減が停滞し、高齢者人口が全人口の1/2を超えれば、超高齢社会と見なされる。高齢化社会とは、日本が超高齢化社会となったのは1997年、超高齢化社会に入ったのは2005年、2025年の高齢化率は29.7%と見込まれ、2047年～2049年をピークに、超高齢社会となる見込みです。

年現在 推定人口

